

# 機関投資家向け 会社説明会資料

---

## 株式会社 理 経

2023年12月5日  
東証スタンダード市場  
証券コード 8226



# 本日の講演内容

---

## ■ 第一部

株式会社理経について

代表取締役社長 猪坂 哲

## ■ 第二部

株式会社エアロパートナーズについて

株式会社エアロパートナーズ  
代表取締役社長 小柳 誠

# 目次

---

## ■ 当社グループの概要

1. 会社概要 . . . . .	P 5
2. 創業／企業理念／基本方針等 . . . . .	P 7
3. 沿革 . . . . .	P 8
4. 事業部門のご紹介 . . . . .	P 9

## ■ 業績について

5. 連結業績推移／直近の業績 . . . . .	P 20
---------------------------	------

## ■ 中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）

6. 中期経営計画 . . . . .	P 31
---------------------	------

## ■ 株主還元について

7. 株主還元についての方針 . . . . .	P 37
--------------------------	------

# 当社グループの概況

---

# 1. 会社概要

社名	株式会社 理 経
設立	1957年6月8日
上場区分/業態	8226 東証スタンダード市場 卸売業
所在地	東京都新宿区西新宿三丁目2番11号 新宿三井ビルディング二号館
拠 点	大阪支店、日本橋営業所、東北営業所 名古屋営業所、九州営業所、技術センター 沖縄出張所、千歳・恵庭営業所
グループ 会社	株式会社エアロパートナーズ 株式会社ネットウエルシステム AEROPARTNERS AMERICA INC. ※全て100%子会社
代表者	猪坂 哲
従業員数	単体131名 / 連結167名
資本金	34億2,691万円
売上高 (2023年3月期)	連結売上高 102億8,500万円 連結営業利益 2億1,900万円



# 1. 会社概要

## ■ 執行体制 (2023年12月5日現在)



**猪坂 哲**  
代表取締役社長  
事業統括本部長



**古畑 直樹**  
常務取締役  
総務部長



**古田 耕児**  
取締役  
企画戦略室長  
DX推進担当



**長谷川 章詞**  
取締役  
経理部長



**小柳 誠**  
取締役  
(株)エアロパートナーズ  
代表取締役社長



**小金丸 裕晃**  
取締役



**横山 晋司**  
取締役



**伊達 雄介**  
取締役(社外)



**滝澤 明久**  
取締役(社外)



**越野 純子**  
取締役(社外)

## 2. 創業/企業理念/基本方針

### 創業

1957年 創業者 石川忠造が電子工学における  
**世界の最新技術及び製品の紹介**を目的に、  
東京都港区芝新橋（現・西新橋）に理経産業株式会社を設立。

#### 企業理念

企業活動の「質」、「速度」、「量」を高め、  
「技術革新」の追求を通して「社会」に貢献します。

#### 会社経営の基本方針

当社グループは、社会変革を先取りした発想と先端技術で、  
お客様のニーズに対応したソリューションを提供し、高度情報化社会に貢献いたします。

#### 経営理念

企業価値の向上を追求し、お客様の評価、従業員の満足度を高め、  
事業を通して社会貢献を目指します。

# 3. 沿革

## システムソリューション

1964年

日本初のミニコン（DEC社製PDP5）  
を東京大学に納入



1976年

全日空（株）に主要空港と支店、  
代理店を結ぶオンライン予約システムを納入

1993年

奈良先端科学技術大学院大学に  
電子図書館システムを納入

2006年

かずさDNA研究所にゲノム解析用電算機  
システムを納入

2016年

武庫川女子大学に全学Wi-Fiシステムと  
教育機関向けクラウド型グループウェアを納入

2017年

株式会社ネットウエルシステムの株式を取得  
（子会社化）

## ネットワークソリューション

1974年

SA社製衛星追尾地上局アンテナシステムを  
南極昭和基地に納入



1988年

郵政省電波研究所に  
34m電波望遠鏡納入

1988年 東証二部（現スタンダード市場） 上場

2001年

コンビニ向け衛星データ配信システム納入

2007年

Jアラート「衛星モデム」696台を  
総務省消防庁に納入



2015年

B-SAT緊急用アップリンク設備を納入

## 電子部品・機器

1957年

トランジスタ販売を開始

1969年

光デバイス用途接着・保護コーティング  
エポキシの取り扱い開始

1980年

防衛省F-4用チャフロールの  
提供開始  
（1986年から  
フレアも提供開始）



2017年

株式会社エアロパートナーズの株式を取得  
（子会社化）



## 現在

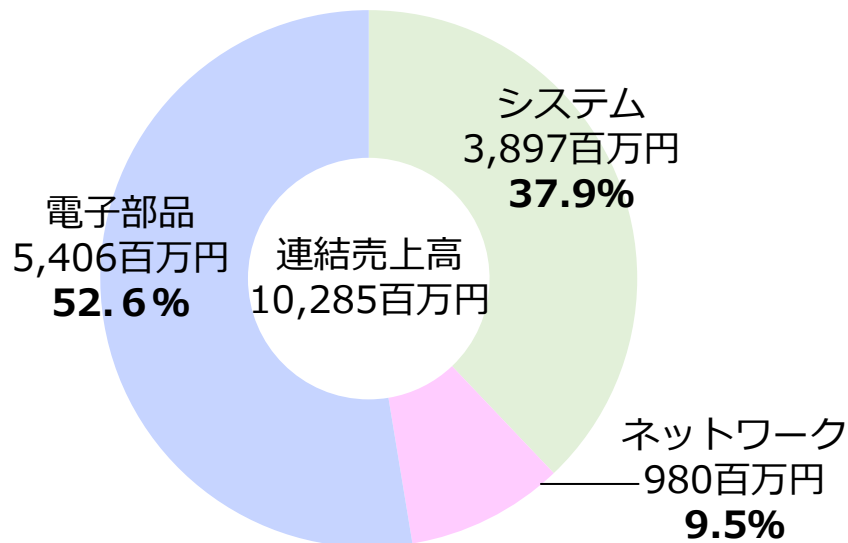
『3事業部門の連携』『M&Aの推進』  
『新事業部門の立ち上げ』に注力



## 4. 事業部門のご紹介

### 【3事業部門構成】

※2023年3月期



#### システムソリューション

##### <主な事業>

- ・大学・官公庁向け基幹システム
- ・計測・解析ソリューション
- ・VR（車両・ドローン用AI開発）
- ・画像認識AI / 顔認証システム
- ・ネットマーケティングソフトウェア
- ・VRシミュレーションの開発

#### ネットワークソリューション

##### <主な事業>

- ・映像配信（放送設備）
- ・衛星通信
- ・無線通信
- ・インターネットアクセス機器（ホテル・施設向け）

#### 電子部品及び機器

##### <主な事業>

- ・航空機整備、航空機関連機材
- ・光センサ用LED等半導体
- ・機能性樹脂
- ・モジュール、コンバータ等の電子部品
- ・光ファイバ事業

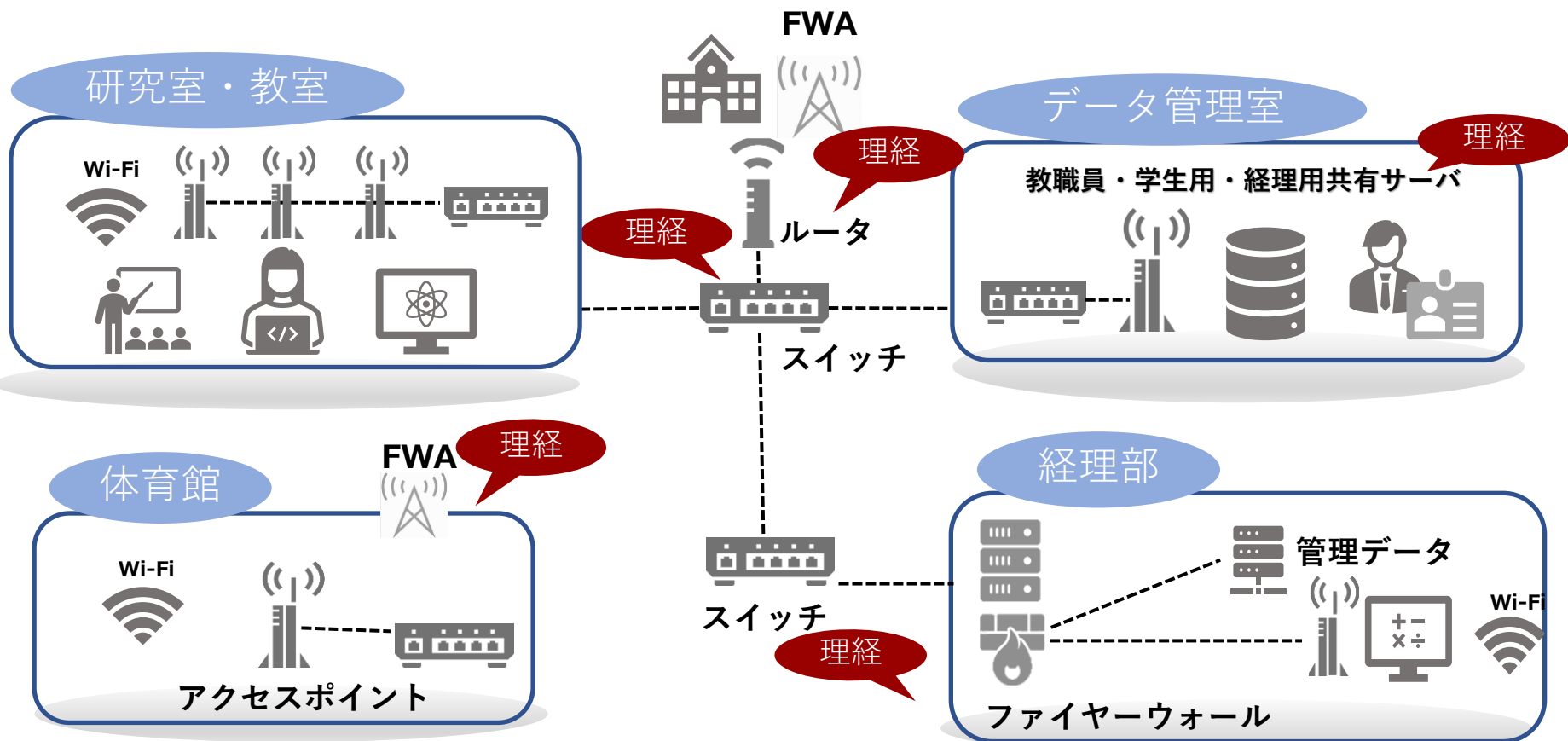
# (1) システムソリューション

	売上構成比	商材/サービス	納入先	用途
システムソリューション	製品および 設計導入 コンサル 構成比 <b>82%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ HPEソリューション・HP製品</li> <li>■ 入試教務システム「Campus Magic」</li> <li>■ IBMソリューション</li> <li>■ 米国VMS Software社「Open VMS」</li> <li>■ Manitoba社「PSCAD V5」</li> <li>■ PTCジャパン株式会社 ・3次元CAD「PTC Creo」</li> <li>■ VRシミュレーションの開発</li> <li>■ 非接触バイタル計測ソリューション</li> <li>■ 二要素認証・外観検査・顔認証製品</li> </ul>	大学 官公庁 製造業 研究機関等	 ネットワーク構築  データ解析  VRシミュレーション開発  顔認証  外観検査
	保守/修理 運用 サポート等 構成比 <b>18%</b>			

# (1) システムソリューション1 (大学向け概要図)



情報ネットワークシステム構築  
入試・教務・就職・出席管理システム



## (1) システムソリューション2

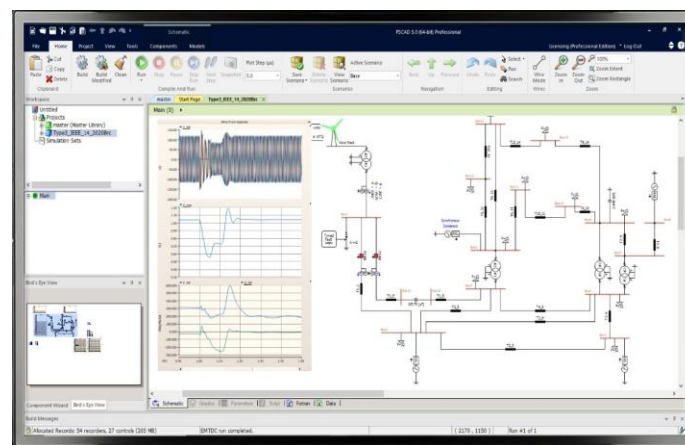
### ■ 武庫川女子大学に コンピュータネットワークシステムを導入

30年以上に亘り同校のシステムを整備。  
高速で安定したネットワークを利用して  
クラウドサービスをや遠隔講義を受けることが可能。



### ■ 80カ国以上で採用 電力系統解析の業界標準ツール

世界中の2000以上の企業・研究所等が採用  
国内で多数（電力・電機メーカー・鉄道・自動車）  
の納入実績

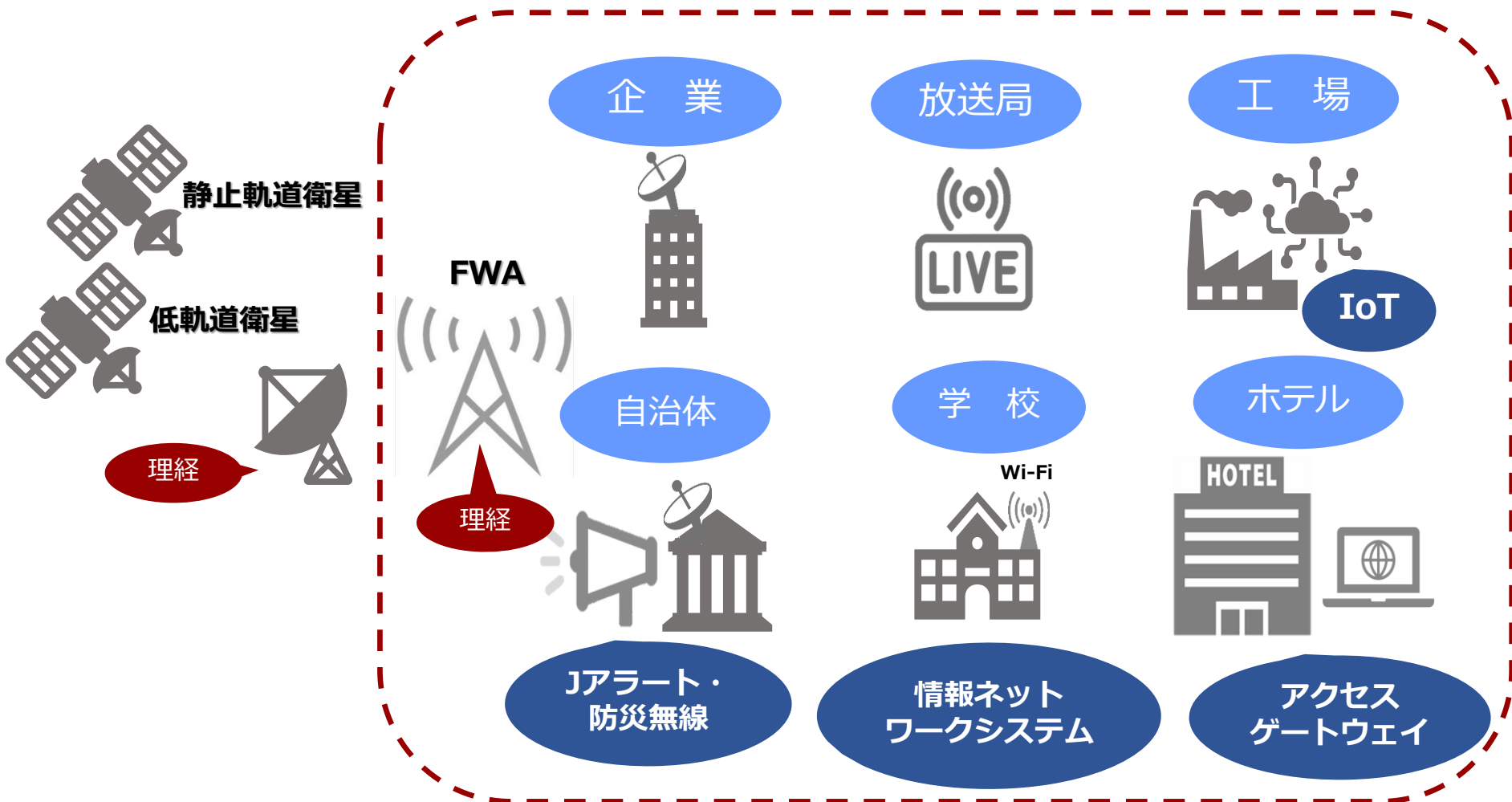


Manitoba社 「PSCAD V5」

## (2) ネットワークソリューション

	売上構成比	商材/サービス	納入先	用途
ネットワークソリューション	製品および 設計導入 コンサル 構成比 <b>61%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ HPE「Aruba」ネットワーク機器</li> <li>■ 長距離無線アクセス機器 RADWIN「RADWIN2000 Alpha」</li> <li>■ IoT無線インフラ</li> <li>■ ネットワークエミュレータ /トラフィックジェネレータ</li> <li>■ インターネットアクセス ゲートウェイ</li> <li>■ デジタルビデオ放送/配信システム</li> <li>■ 衛星通信関連製品</li> <li>■ クラウド動画配信サービス</li> <li>■ 防災情報配信システム (Jアラート)</li> </ul>	衛星通信会社  放送局  通信キャリア  自治体  文教  一般事業者	 衛星通信   動画配信   IoT   Jアラート   Wi-Fi
	保守/修理 サポート等 構成比 <b>39%</b>			

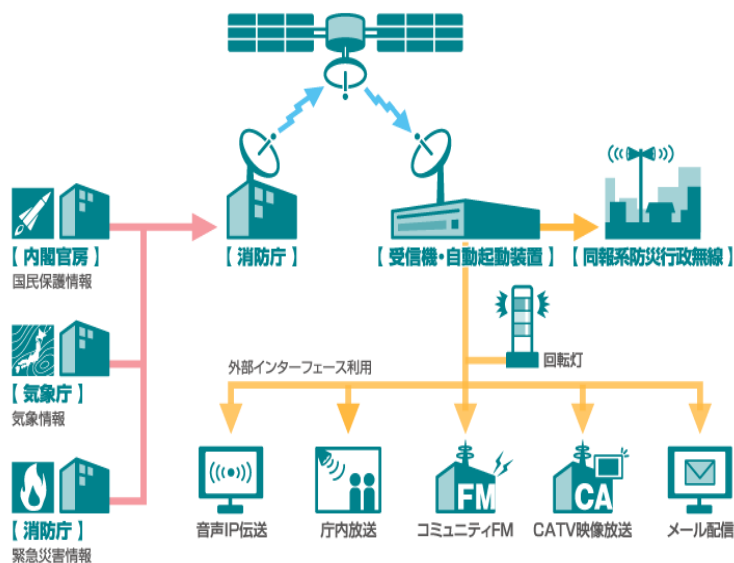
## (2) ネットワークソリューション1 (多様な通信ソリューション)



## (2) ネットワークソリューション2 (衛星関連事業)

### ■ Jアラートシステムを全国自治体に提供

災害情報伝送のシステム開発に長年従事



### ■ 北海道大樹町に










#### 低軌道衛星用地上局2基を施工

株式会社インフォステラと低軌道衛星ビジネスへの  
取り組みで協業

観光活性化、防災システムで地域社会へ貢献



### (3) 電子部品及び機器 (幅広い電子機器・安全保障関連ソリューション)

売上構成比 24%		商材/サービス	仕入先	用途
ソリューション コンピュータ	電子部品・機器 構成比 <b>12%</b>	IoT通信モジュール DC/DCコンバータ AC/DCコンバータ スイッチング電源 光ファイバ	Quake Global RECOM Power PULS PSTI	 放送通信  自動車  医療  製造業
	半導体 構成比 <b>9%</b>	POF通信用高速赤色LED 光センサ用LED	大同特殊鋼 Marktech	 製造業
	機能性樹脂 構成比 <b>3%</b>	機能性接着剤 放熱用樹脂	EPOXY Technology AOS Thermal Compounds	 カード類  医療
76%	ソリューション 安全保障関連	航空機用エンジンの国外修理・オーバーホール パーツメンテナンス 各種装備品 防弾板 チャフ・フレア	 航空・宇宙  安全保障	
航空機器 構成比 <b>76%</b> ※子会社 エアロパートナーズ				



## (3) 電子部品及び機器(安全保障関連ソリューション)

第2部にて詳細説明

### ■ 航空機用のエンジンの国外修理

エンジンのオーバーホール業務を  
受注から納品まで受託  
装備品の納入やパーツメンテナンス  
も行う。



PW2000シリーズエンジン

### ■ 防衛省向けチャフ・フレアの納入 防弾板の納入



出典：平成28年版防衛白書



出典：海上自衛隊HP

## (4) 注力事業領域

### ■ デジタルツインの活用

- ・ 自動運転車や自律飛行ドローンのAI学習用に高精細なVR空間を提供
- ・ Unreal Engineの公認トレーニングセンターとしてコンサルティングビジネスも展開



株式会社SUBARUと協業で自動運転シミュレーションを開発

### ■ 特殊光ファイバ受託生産

- ・ 通信、医療、製造分野における次世代デジタルインフラを実現するために必要なカスタムファイバから光デバイスまで、一貫した設計開発の提案により顧客ニーズに対応
- ・ 千歳・恵庭営業所を開設



千歳・恵庭営業所を新規開設

# 業績について

---

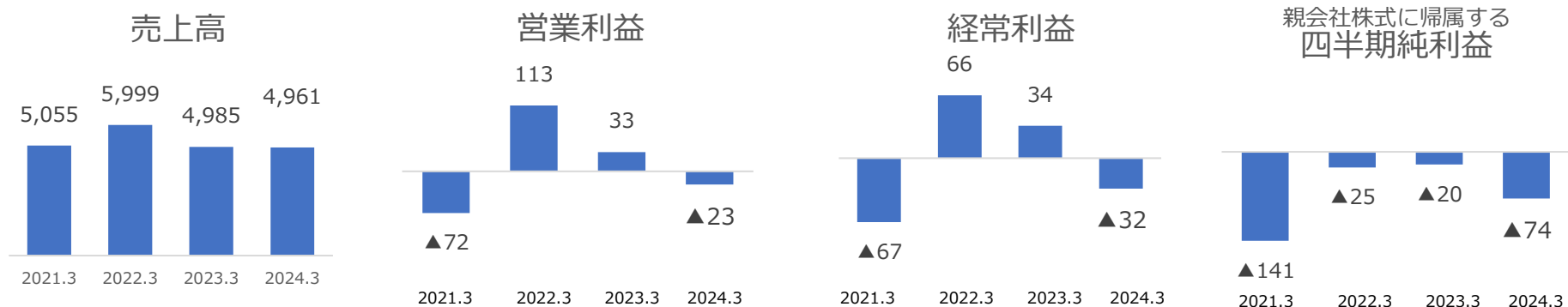
## 5. 連結業績推移 (2021年3月期実績～2024年3月期予想)

単位：百万円	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期予想	
				2023年 5月開示	2023年 11月開示
売上高	<b>10,139</b>	<b>10,862</b>	<b>10,285</b>	<b>10,400</b>	<b>11,500</b>
営業利益 (営業利益率)	<b>216</b> (2.1%)	<b>248</b> (2.3%)	<b>219</b> (2.1%)	<b>160</b> (1.5%)	<b>230</b> (2.0%)
経常利益 (経常利益率)	<b>226</b> (2.2%)	<b>204</b> (1.9%)	<b>220</b> (2.1%)	<b>160</b> (1.5%)	<b>230</b> (2.0%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	<b>157</b> (1.5%)	<b>139</b> (1.3%)	<b>66</b> (0.6%)	<b>100</b> (1.0%)	<b>140</b> (1.2%)

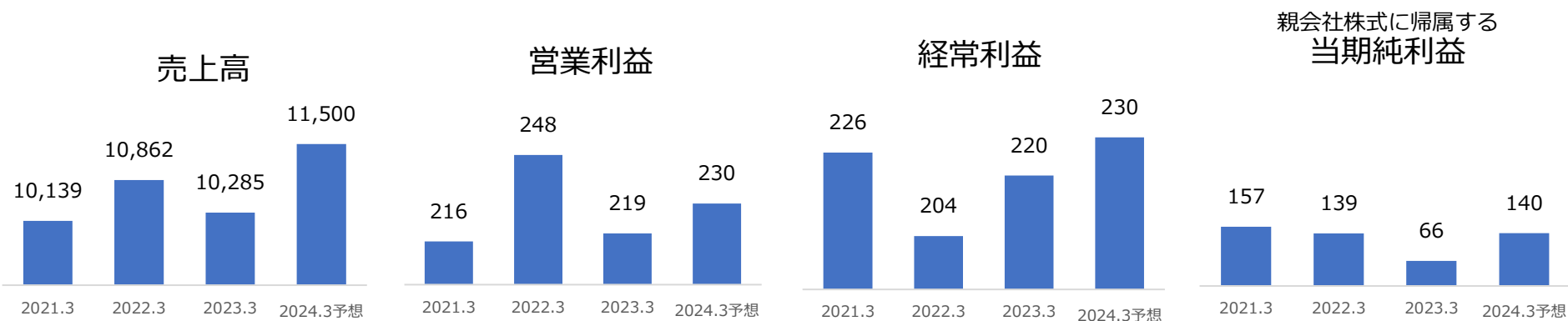
## 5. 連結業績推移

<2Q累計>

単位：百万円



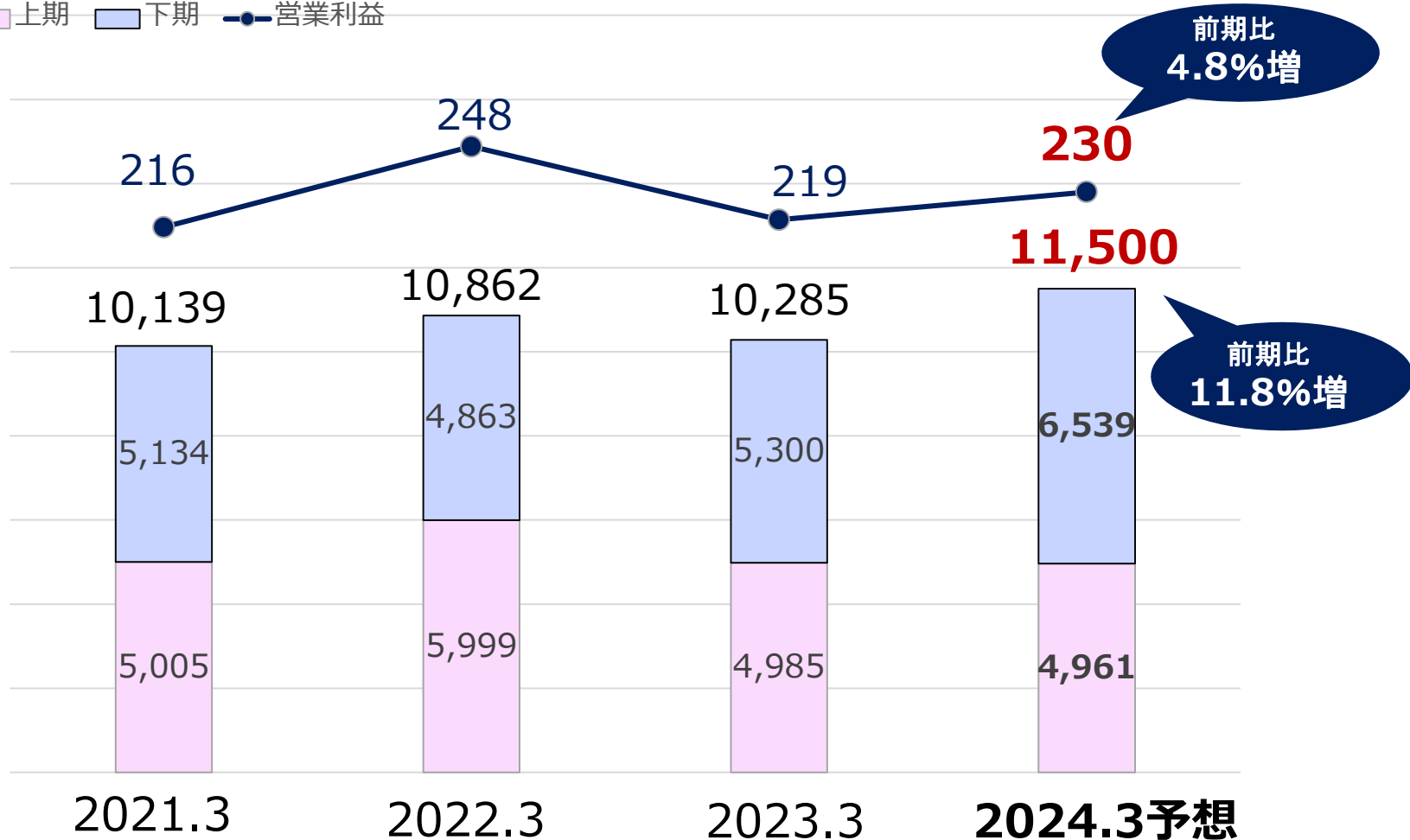
<通期>



## 5. 連結業績推移 売上高・営業利益

単位：百万円

上期 下期 営業利益



## 5. 直近の業績・対前期

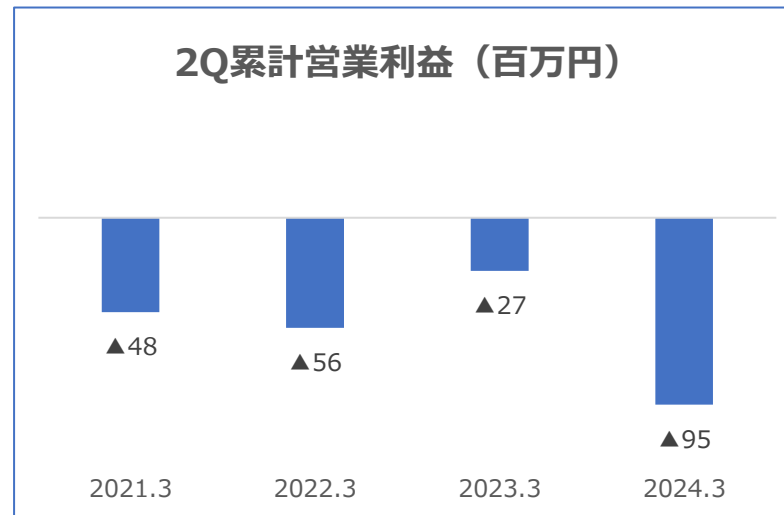
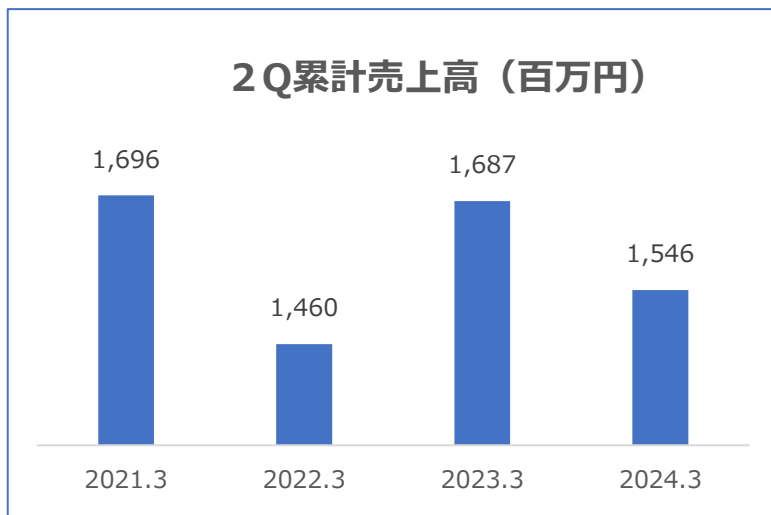
単位：百万円	2023年3月期 2Q累計	2024年3月期 2Q累計	増減額	前年同期比
売上高	4,985	4,961	▲23	▲0.5%
営業利益	33	▲23	▲57	—
経常利益	34	▲32	▲66	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲20	▲74	▲54	—

- 連結売上高 対前期▲23百万円 連結営業利益 対前期▲57百万円
  - － 連結売上高に関しては多少の減少はあったものの昨年並み。
  - － 連結営業利益は前期に比べ人件費の増加、貸倒引当金繰入額の計上があったため。
- 連結経常利益 対前期▲66百万円
  - － 前期に比べ為替差益が減少し、支払利息、為替差損が増加したため。
- 当期純利益 対前期▲54百万円
  - － 主に販売費及び一般管理費が増加したため。

## 5. セグメント別業績 <システムソリューション>

単位：百万円	2023年3月期 2Q累計	2024年3月期 2Q累計	増減額	前年同期比
売上高	1,687	1,546	▲141	▲8.4%
営業利益	▲27	▲95	▲68	—

- 前期は大学向け大型システム案件があったため、今期は減少。

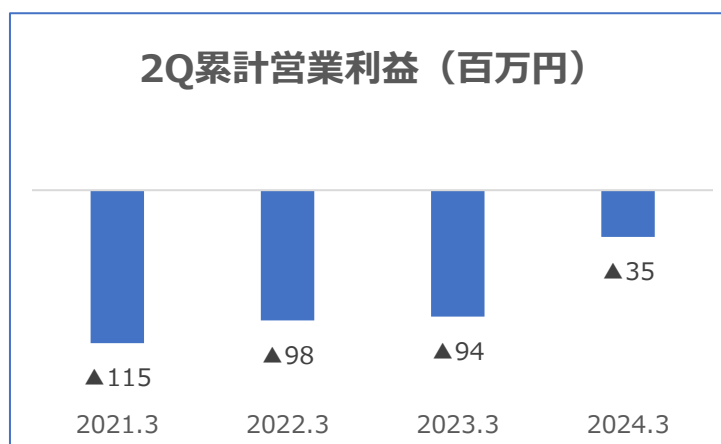
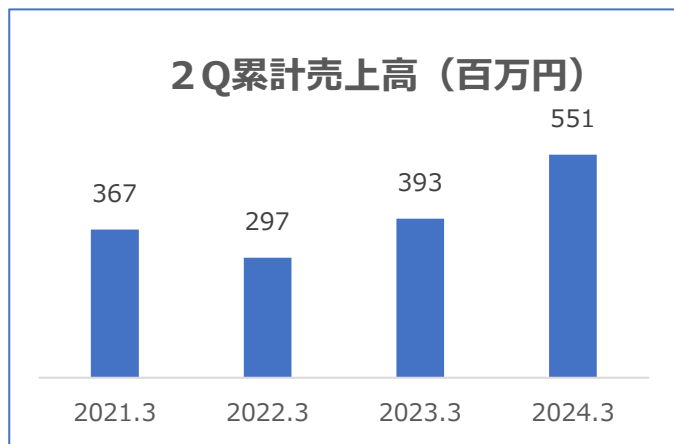




## 5. セグメント別業績 <ネットワークソリューション>

単位：百万円	2023年3月期 2Q累計	2024年3月期 2Q累計	増減額	前年同期比
売上高	393	552	+157	+40.1%
営業利益	▲94	▲35	+60	-

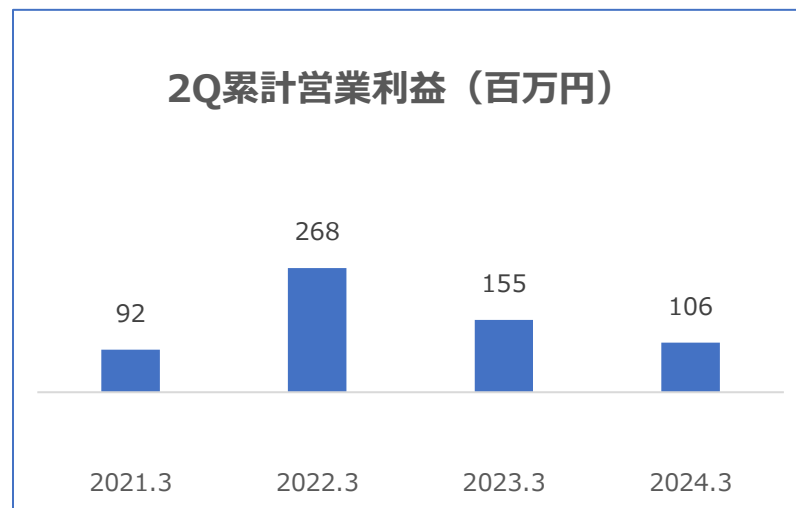
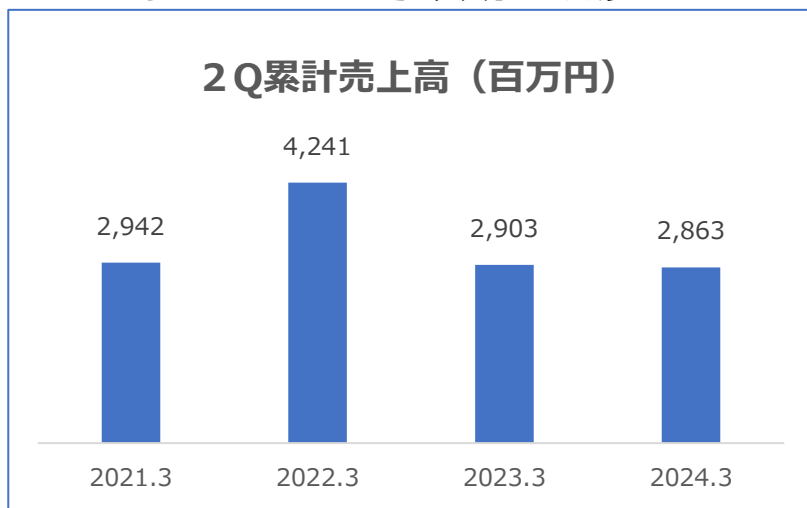
- デジタル放送用設備案件の前期からのずれ込みにより増加。



## 5. セグメント別業績 <電子部品及び機器>

単位：百万円	2023年3月期 2Q累計	2024年3月期 2Q累計	増減額	前年同期比
売上高	<b>2,903</b>	<b>2,863</b>	<b>▲40</b>	<b>▲1.4%</b>
営業利益	<b>155</b>	<b>106</b>	<b>▲48</b>	<b>▲31.2%</b>

- 連結子会社エアロパートナーズにて防衛省向け案件、民間航空向け部品が好調だが、当社単体において前年同期は製造設備用センサー部品の一括売上があったことで今期は減少。



## 5. 直近の業績・対予想

単位：百万円	2023年5月時 2Q累計予想	2024年3月期 2Q累計実績	増減額	予想比
売上高	4,080	4,961	+881	+21.6%
営業利益	▲220	▲23	+197	-
経常利益	▲220	▲32	+188	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲250	▲74	+176	-

- 連結売上高 対予想+881百万円
- 連結営業利益 対予想+197百万円 連結経常利益 対予想+188百万円
- 当期純利益 対予想+176百万円

### <主な要因>

システムソリューション：ホテル向け無線システム、3次元CAD、ソフトウェアの新規売上、保守の増加寄与

ネットワークソリューション：保守案件が増加

電子部品及び機器：連結子会社エアロパートナーズ案件の早期納入、円安による契約金額の増加等

## 5. 直近の業績・2024年3月期 通期業績予想

単位：百万円	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期予想	増減額	前期比
売上高	10,400	11,500	+1,100	+10.6%
営業利益	160	230	+70	+43.8%
経常利益	160	230	+70	+43.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	100	140	+40	+40.0%

- 連結売上高 対2023.3期 +1,100百万円
- 連結営業利益 対2023.3期 +70百万円 連結経常利益 対2023.3期 +70百万円
- 当期純利益 対2023.3期 +40百万円

<主な要因>

システムソリューション：大学向けシステム案件好調

電子部品及び機器：連結子会社である株式会社エアロパートナーズの防衛省向け案件が好調

## 5. 直近の業績 <BSの状況>

単位：百万円	2023.3末	2023.9末	増減	主な増減要因
【資産の部】				
流動資産	6,562	7,769	1,207	
現金及び預金	2,249	3,129	880	連結子会社エアロパートナーズの銀行借入増加のため
商品及び製品	505	643	138	取引増加に伴う在庫増
前渡金	1,025	1,141	116	年間保守取引の一括前払分の増加
資産合計	7,288	8,473	1,185	
【負債の部】				
流動負債	2,469	3,778	1,309	
支払手形及び買掛金	1,135	1,037	▲98	前期末計上の買掛金を支払
短期借入金	570	1,695	1,125	連結子会社エアロパートナーズの銀行借入増加のため
前受金	316	693	377	年間保守取引の一括前受金
負債合計	2,841	4,124	1,283	
【純資産の部】				
株主資本	4,457	4,337	▲120	親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、配当金支払
負債純資産合計	7,288	8,473	1,185	

# **中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）**

---

## 6. 中期経営計画 (2023年3月期~2025年3月期)

フェイズ1 : 2017年~2019年 事業継承 営業赤字から黒字化への道筋

フェイズ2 : 2020年~2022年 事業の安定化・NEXTビジネスの創出

フェイズ3 : 2023年~2025年 事業の安定化から拡大へ 収益改善(ROE)

### 経営目標 (2025年3月期)

■ 連結売上高	118.6億
■ 営業利益	3.2億
■ 当期利益	2.3億
■ ROE	5%

### 経営方針

■ 構造改革	事業効率化	グループ相乗効果
■ 基盤強化	ビジネスモデル	人財強化
■ 企業価値	買収防衛	情報発信
■ 社会貢献	国策への参加	事業貢献

### 2030年のありたい姿

■ 連結売上高	150億	■ 従業員	200名
■ ROE	8%	■ 女性管理職比率	10%
■ サービスビジネス構成比	30%	■ 社会貢献事業構成比	20%

## 6. 中期経営計画のサマリ

### (1) 年度別目標

単位:百万円	2022年 3月期	初年度 (2023年3月期)		次年度 (2024年3月期)		最終年度	
	実績	目標	実績	計画	2023年 5月開示	2023年 11月開示	2025年 3月期
連結 売上高	10,862	10,265	10,285	11,132	10,400	11,500 達成見込	11,869
連結 営業利益	248	198	219	248	160	230 達成見込	329
連結 経常利益	204	195	220	245	160	230 達成見込	326
連結 当期純利益	139	114	66	163	100	140 達成見込	232
ROE	3.2%	2.6%	1.5%	3.6%	2.2%	3.1%	5.0%



フェイズ3 2023年～2025年 事業の安定から拡大へ・収益改善

独自の強味を作る

- 既存事業の高付加価値化へ
- 新規事業の構築

システムソリューション

ネットワーク  
ソリューション

電子部品及び機器

既存

- ITインフラ基盤  
(仮想化、ネットワーク)
- VR/AR (各種訓練)
- 画像認識AI/2要素認証

- 映像配信  
(SaaS・放送設備)
- 無線通信  
(衛星・FWA)

- 航空機整備  
(アビオニクス関連)
- 特殊実装部品  
(センサー・電源)
- 機能性樹脂  
(医療・光通信)

新規

- IoTヘルスケア
- 再生エネルギー関連
- AI開発用VR  
(デジタルツイン)

- 低軌道衛星関連
- IoT無線インフラ

- 光ファイバ・光給電
- 受託生産

## (2)サステナビリティ戦略

### 基本方針

社会変革を先取りした発想と先端技術で、お客様のニーズに対応したソリューションを提供し、高度情報化社会に貢献いたします。

### SDGs

- 地方創生SDGs 官民連携プラットフォームへの参加（Jアラート）
- 地盤工学会（豪雨時土砂災害避難体験VRの開発と防災教育の適用）で受賞

### カーボンニュートラル

- 「GXリーグ」に賛同
- 「DX推進業者」に認定

### 多様性

- 性別、国籍、新卒、中途採用に関わらず、能力のある人材を管理職に登用
- 「仕事と生活の調和が図れる職場環境を創る」テレワークや時短施策実施
- 人材育成につき、階層別研修や女性活躍推進法に基づく行動計画を策定

### 人的資本

- 人材教育、研修、評価制度、自己申告、適性判断等の付随する投資実施

### 知的財産

- 規程、社内体制を整備し、特許権、意匠権で保護強化  
蓄積したノウハウやデータは営業秘密として保護

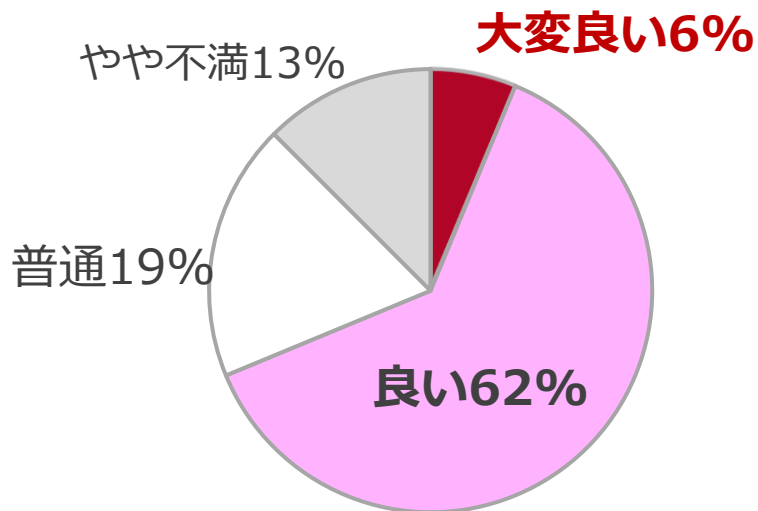
## (3) IR活動の取組み

証券会社にて個人投資家説明会を数回開催

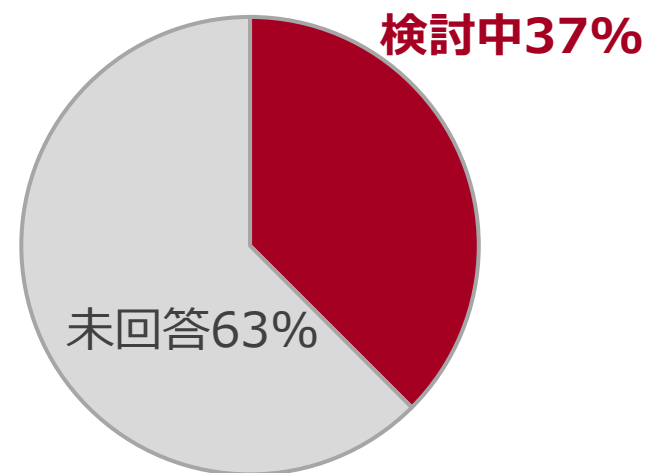
- ◆ 60%以上が説明会に対して好感。
- ◆ 開催後は約40%の参加者が、保有を検討と回答



### Q.説明会について



### Q.説明会後の保有可否

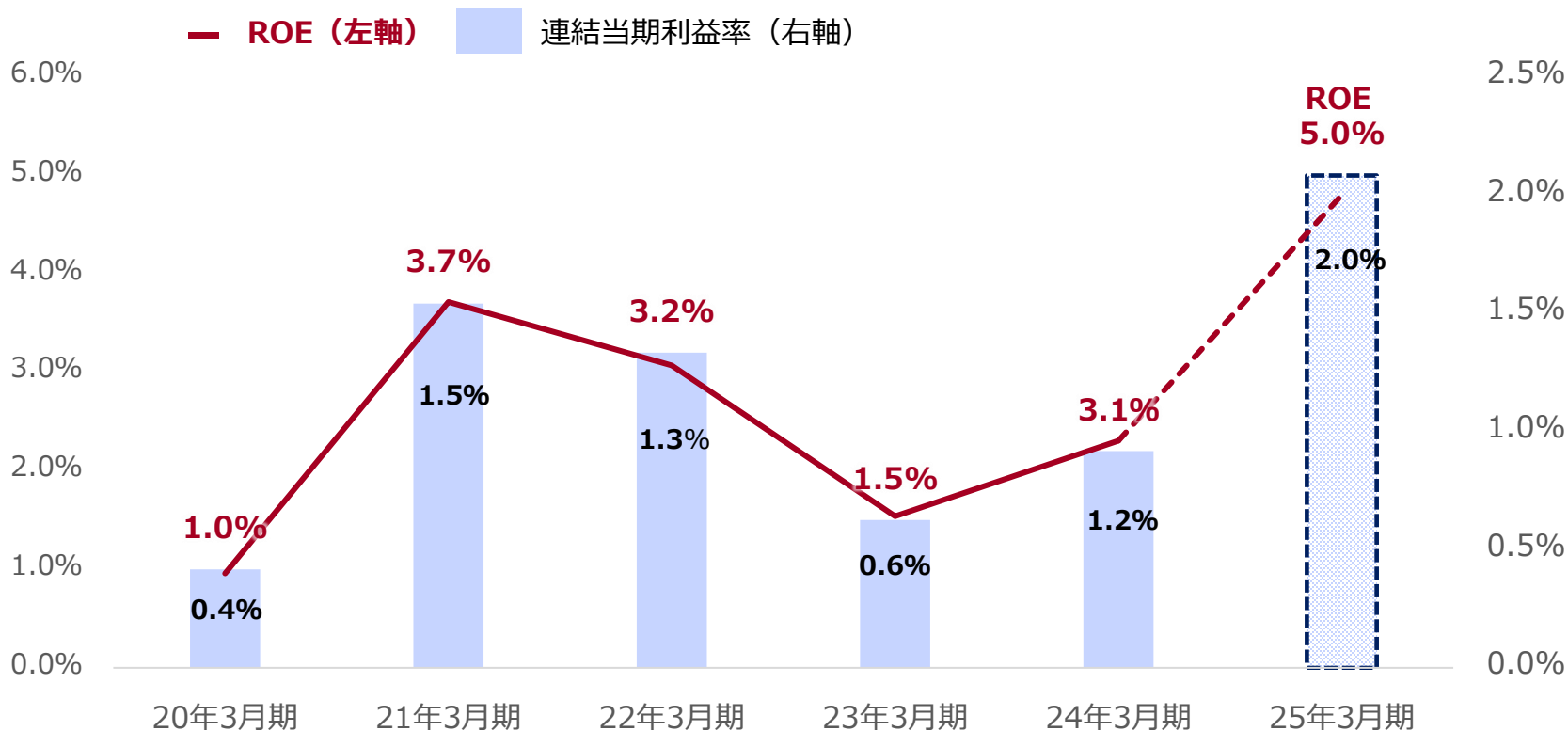


# 株主還元について

---

## 7. 株主還元についての方針（配当）

- ◎ ROEの5.0%を目標数値とし、財務の健全性を保ちつつ収益力の向上を目指す
- ◎ 短期的な改善施策のひとつとして、適正な配当を行う



1株当たり配当額	3円	3円	3円	3円	3円	—
連結配当性向	107.1%	28.5%	32.5%	67.8%	32.1%	—

## 理経からの情報発信

株主、投資家の皆様におかれましては、  
是非ご購入いただければ幸いです。  
お申し込みは、こちらまでお願いします。

**メルマガ**      <https://rikei.eform.ne.jp/ml/front?id=10&p=1&m=1>

**ツイッター**    [https://twitter.com/rikei\\_pr](https://twitter.com/rikei_pr)

**IRメール**      <https://rikei.eform.ne.jp/ir/front?id=19&p=1&m=1>

### 【QRコード】



メルマガ



ツイッター



IRメール



## 第二部

# 株式会社 エアロパートナーズについて



株式会社エアロパートナーズ  
代表取締役社長 小柳 誠

2023年12月5日



# 会社概要

- 会社名 : 株式会社 エアロパートナーズ  
設立 : 1992年7月1日  
事業 : 航空機及び、その関連機材の輸入販売、サービス業務
- 本社 : 東京都新宿区西新宿3丁目2番11号  
新宿三井ビルディング2号館 14F  
拠点 : 名古屋営業所 / 米国法人 AeroPartners America , Inc.
- 社長 : 小柳 誠  
取締役 : 横山 晋司  
: 中原 珠満  
監査役 : 長谷川章詞
- 資本金 : 8000万円  
売上高 : 36億円 (2023年3月期)  
Website : <http://www.aeropartners.co.jp>





# 沿革

## 強み

高い情報収集力と専門分野に精通した航空機器のプロフェッショナル集団  
高付加価値の製品やサービスの提供が可能

## 沿革

- 1992年7月 株式会社トーメンの子会社として株式会社トーメンエアロスペース設立
- 1993年9月 名古屋営業所開設
- 1994年12月 **U-36A (リアジェットA) 6号機**を海上自衛隊に納入
- 1996年5月 **TV報道用MD900初号機**を朝日航洋株式会社に納入
- 1998年6月 **リアジェット31A**を中日新聞社に納入
- 1998年7月 **OH-6DA初号機**を海上自衛隊に納入
- 1999年7月 **ドクターヘリ用MD902初号機**を朝日航洋株式会社に納入
- 2002年7月 株式会社トーメンエアロスペース創立10周年
- 2002年10月 株式会社トーメンより独立、社名を株式会社エアロパートナーズと改称
- 2008年7月 フジテレビ系列連続ドラマ「コード・ブルー ドクターヘリ緊急救命」にMD902登場。
- 2012年7月 エアロパートナーズ創立20周年
- 2017年10月 **エアロパートナーズ全株式を株式会社理経に譲渡し、株式会社理経の連結子会社となる。**
- 2019年12月 エアロパートナーズ・アメリカ事務所移転
- 2021年4月 本社を東京都中央区日本橋から、東京都新宿区に移転
- 2022年7月 エアロパートナーズ創立30周年

強み  
機体自体の取り扱い

強み  
資金サポート力



# 事業内容

## 強み

- ・実機を扱っているため、トータル的な部材メンテのノウハウ有
- ・創業より30年強、仕入先、認定工場先と提携力有/旧式部材のノウハウ、経験値有
- ・入札ノウハウ、法令順守、依頼から納品までの一気通貫（ワンストップ）可能



### ◆ 依頼内容

- ・定期的なエンジンのオーバーホール
- ・可動維持のメンテナンスetc...

- ◆ 営業&プロモーションのサポート  
見積依頼、発注、顧客依頼とメーカー等の交渉、クレーム対応、翻訳、訪問打ち合わせ手配等
- ◆ 海外への輸出入業務アレンジ
- ◆ 法令順守/コンプライアンス（外国為替管理法、輸出入管理）
- ◆ 枯渇・旧式部品入手サポート  
打ち切り品の最終発注業務、サプライヤー開拓、調査
- ◆ 日本への新製品・新技術の導入
- ◆ TAA（技術援助契約）支援  
国内MRO（修理及びメンテナンスライセンス取得支援）

# 陸上自衛隊向け



	修理等対応機種	用途	保有数 (機)
	UH-1J	多用途	112
	UH-60JA	多用途	40
	CH-47J/JA	輸送	50
	TH480B	練習用	30
	LR-2	連絡偵察	8



	修理等対応機種	用途	保有数 (機)
	P3C・EP-3 UP-3C/D・OP-3C	哨戒/多用途	47
	TC-90・LC-90	練習機/連絡機	18
	T5	練習用	30
	SH-60J/K	哨戒	85

# 航空自衛隊向け



	修理等 対応機種	用途	保有数 (機)		修理等 対応機種	用途	保有数 (機)
	U-4	多用途	5		UH-60J	救難	37
	T-7	練習用	49		C-130	輸送	13
	U-125/A	操作救難 飛行点検	28		KC-767/KC46	給油	6
	CH-47J	輸送	15		F-15J/DJ	戦闘	200

# その他製品



各自衛隊向け チャフ・フレア関連製品



民間向け ドクターヘリの導入促進活動を実施  
Emergency Medical Interior (EMSキット) の販売導入サポート



(EMSキット)

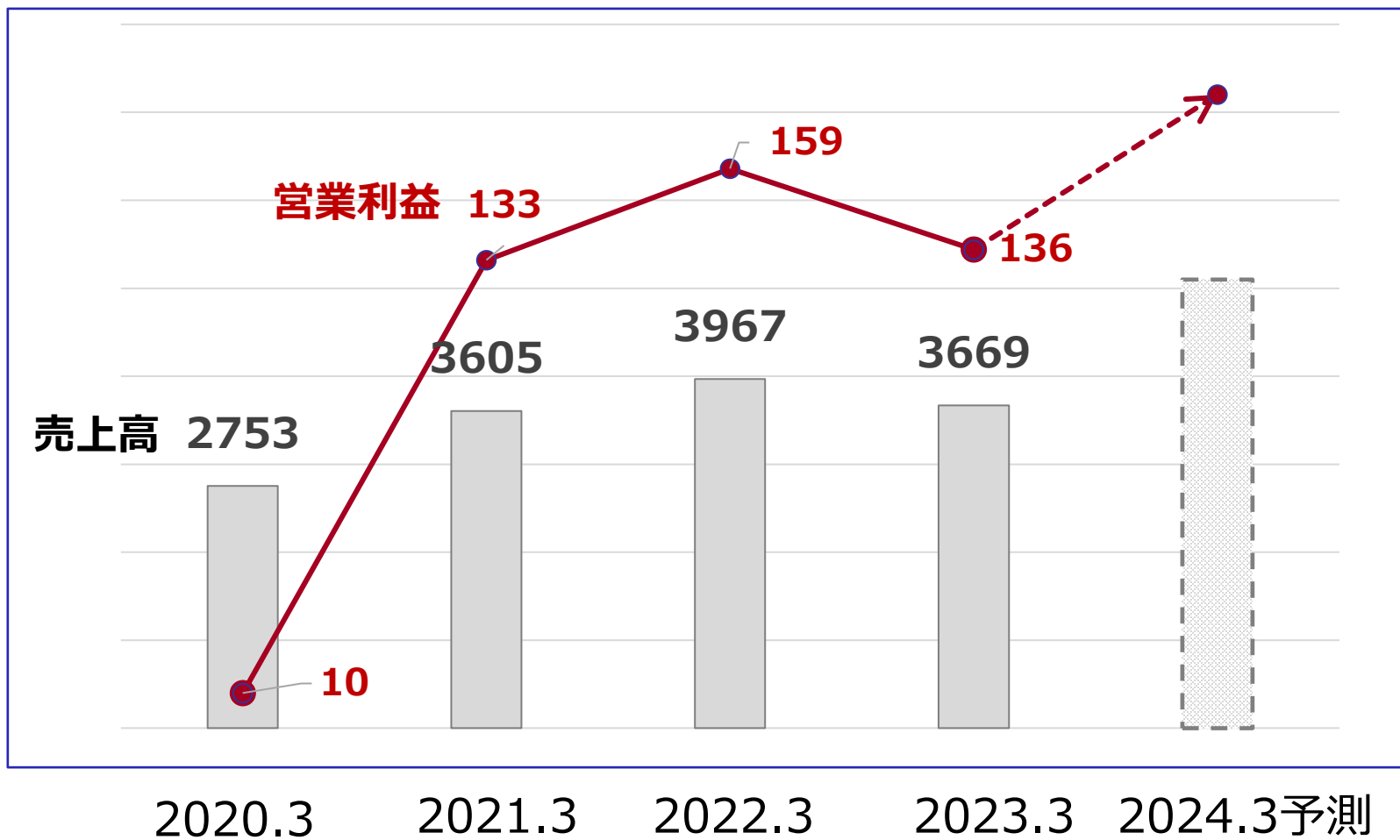
ドクターヘリ  
EMSヘリコプター用インテリア  
(EMS : Emergency Medical Service)

その他 搜索レーダー・気象レーダー  
エンジンの吸気口の異物吸引を防ぐための装置  
民間ヘリコプター用エンジンサポート・オーバーホール・エクスチェンジ



# 売上高・営業利益推移

単位：百万円

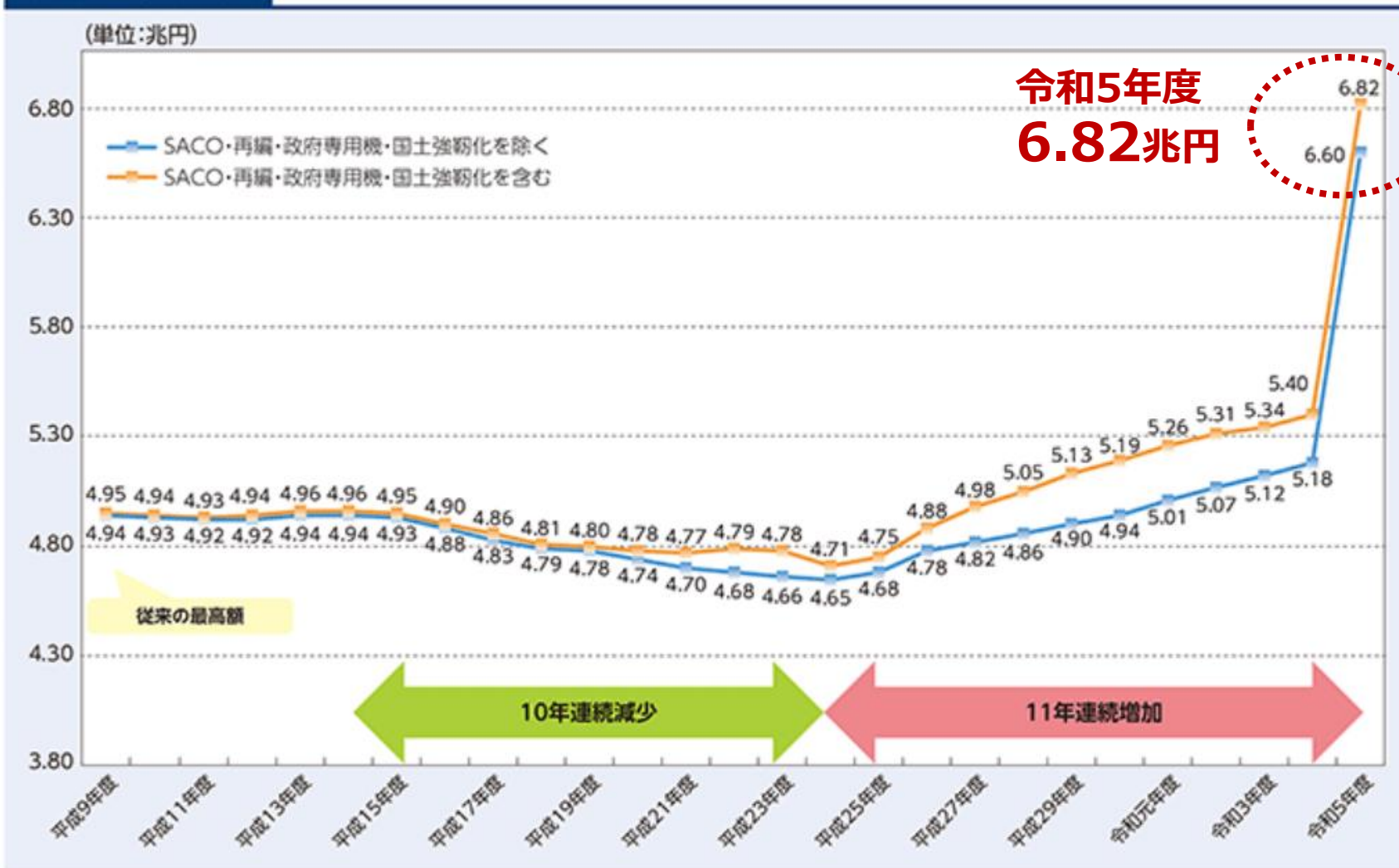




# 防衛関係費予算推移

図表Ⅱ-4-3-2

防衛関係費（当初予算）の推移



出典：令和5年版防衛白書





# 予算配分方針（金額ベース）

図表Ⅱ-4-3-4

令和5（2023）年度予算の配分方針

区分	分野	5年間の総事業費 (契約ベース)	令和5年度事業費 (契約ベース)	令和5年度事業費 (歳出ベース)
スタンド・オフ防衛能力		約5兆円	約1.4兆円	約0.1兆円
統合防空ミサイル防衛能力		約3兆円	約1.0兆円	約0.2兆円
無人アセット防衛能力		約1兆円	約0.2兆円	約0.02兆円
領域横断作戦能力	宇宙	約1兆円	約0.2兆円	約0.1兆円
	サイバー	約1兆円	約0.2兆円	約0.1兆円
	車両・艦船・航空機等	約6兆円	約1.2兆円	約1.1兆円
指揮統制・情報関連機能		約1兆円	約0.3兆円	約0.2兆円
機動展開能力・国民保護		約2兆円	約0.2兆円	約0.1兆円
持続性・強靱性	弾薬・誘導弾	約2兆円 (他分野も含め約5兆円)	約0.2兆円 (他分野も含め約0.8兆円)	約0.1兆円 (他分野も含め約0.3兆円)
	装備品等の維持整備費・可動確保	約9兆円 (他分野も含め約10兆円)	約1.8兆円 (他分野も含め約2.0兆円)	約0.8兆円 (他分野も含め約1.3兆円)
	施設の強靱化	約4兆円	約0.5兆円	約0.2兆円
防衛生産基盤の強化		約0.4兆円 (他分野も含め約1兆円)	約0.1兆円 (他分野も含め約0.1兆円)	約0.1兆円 (他分野も含め約0.1兆円)
研究開発		約1兆円 (他分野も含め約3.5兆円)	約0.2兆円 (他分野も含め約0.9兆円)	約0.1兆円 (他分野も含め約0.2兆円)
基地対策		約2.6兆円	約0.5兆円	約0.5兆円
教育訓練費、燃料費等		約4兆円	約0.9兆円	約0.7兆円
合計		約43.5兆円	約9.0兆円	約4.4兆円

5年間で10兆円



# 予算配分科目の増加

<現 在>

<従 来>

- ・ 主要装備品などの取得経費
- ・ その他



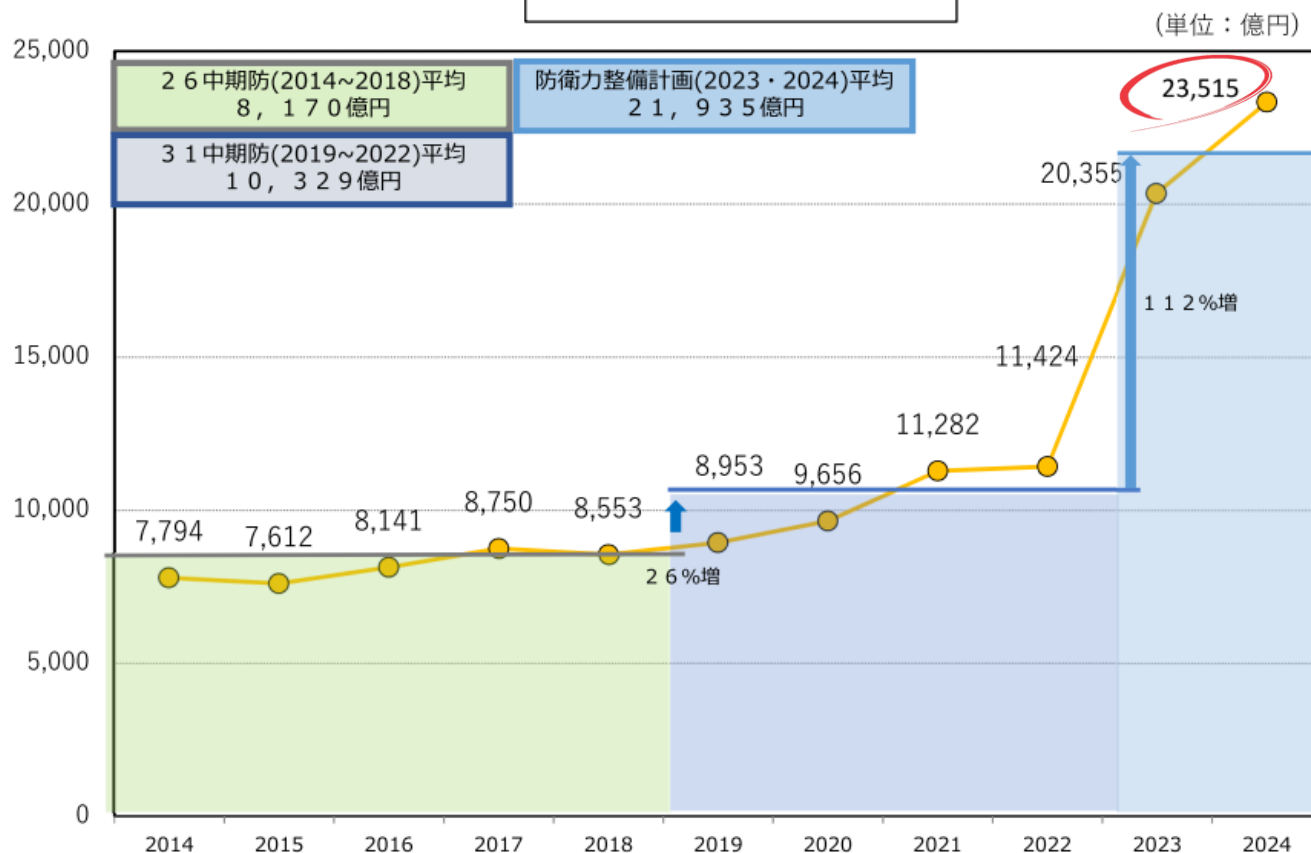
- ・ スタンドオフ防衛能力
- ・ 統合防空ミサイル防衛能力
- ・ 無人アセット防衛能力
- ・ 領域横断作戦能力（宇宙）
- ・ 領域横断作戦能力（サイバー）
- ・ 領域横断作戦能力（車両・船舶・航空機等）
- ・ 指揮統制、情報関連機能
- ・ 起動展開能力／国民保護
- ・ 弾薬／誘導弾の確保
- ・ **装備品等の維持整備費、可動確保**
- ・ 施設の強靱化
- ・ 防衛生産基盤の強化
- ・ 研究開発
- ・ 基地対策
- ・ 教育訓練費、燃料費等



# 予算推移 (装備等の維持整備費)

▶ 部品不足による非可動を解消し、保有装備品の可動数の最大化及び部隊能力の維持向上を図るため、十分な部品を確保し、確実な整備を行う経費を確保。

装備品等の維持整備費の推移



**2024年予算  
約2兆円**



## VIRTUAL REALITY SIMULATION



## HELIMOD

In collaboration with Ryan Aerospace, Precision Flight Control is pleased to bring you the future of helicopter simulation.

The HELIMOD sets out a new standard in affordable helicopter simulation taking advantage of virtual reality technology coupled with robust and realistic flight controls and state-of-the-art simulation software.

The motion platform provides an extra level of immersion and realism by offering vital vibration cues. The device takes up only a very small footprint. With motion platform attached, it is just over 51 inches long and around 28 inches wide. It weighs just 300 lbs so it can be a two-man lift making it extremely portable/ deployable.

### STANDARD FEATURES

- ✓ Full immersion (in the virtual cockpit) with ability to look around
- ✓ Modular and reconfigurable including main instrument panels, avionic suites, GPS etc.
- ✓ Plug and Play
- ✓ Cyclic has force trim function
- ✓ Pedals have high quality hydraulic dampening
- ✓ Collective has high quality hydraulic dampening and friction control
- ✓ Can be used with VR Headset or HD visuals

### OPTIONAL FEATURES

- + 3-DOF Motion Base Available
- + In-Cockpit Video System
- + GPS EFB Connectivity Kit
- + PilotEdge® Live ATC Compatible
- + Wireless Tablet Instructor's Interface
- + Control Loading
- + Dome Visual System





# We are TRACE certified

✂ The latest TRACE Certification ID: TC4202-8752

## 免責事項

- 本資料は、当社グループの業績及びグループの経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料の内容には、将来の計画や業績に関する見通し等の情報を掲載しておりますが、これらの情報は資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。  
そのため、その実現や達成を確約するものではなく、また今後、予告なしに変更される場合があります。
- 本資料利用の結果で生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の複製、転送等を行わないようお願いいたします。

